

平成26年度採択

次世代自動車用、超薄肉ステンレス製「箱型電池ケース」の開発と事業化

国本工業株式会社（静岡県） 主たる技術：精密加工に係る技術

次世代自動車ではリチウムイオン電池の普及に向け、航空機並みの高安全性電池ケースへの期待が強い。航空機では強度・耐熱性に優れたステンレス鋼材が用いられているが、この鋼材は難加工材であり自動車が要求する寸法・形状の加工は難しい。本研究開発は、流通中の深絞り加工の繰り返しで製造されるアルミニウム製電池ケースの製造技術を発展させ、市場の要求の高い「ステンレス製電池ケース」を事業化するため、絞り加工を施した中間素材に、特殊な「高度化圧延金型」（一体形固定ダイス金型で構成）による製造方法で、板厚0.2mmの超薄肉「ステンレス製電池ケース」を開発した。

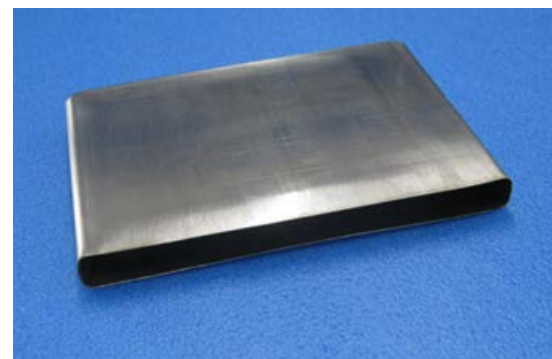
■ステンレス鋼材製 箱型電池ケースの開発。

- ・材質 : SUS304L
- ・肉厚 : 0.2mm
- ・ケースサイズ : 縦12mm×横120mm×深さ90mm

研究体制

事業管理機関：公益財団法人浜松地域イノベーション推進機構

法認定中小企業 : 国本工業株式会社
大 学 : 国立大学法人 静岡大学



完成したステンレス製電池ケースの試作品

当該研究開発の連絡窓口

所属・氏名：事業推進部 中山
E-mail : nakayama@hai.or.jp
電話番号 : 053-489-8111